

3 交通事業会計

〔概要〕

令和2年度の交通事業の運営については、コロナ禍の中、利用者に安心してバスに乘車していただくため、徹底した感染防止策を実施し、公共交通の維持に努めたところですが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、事業収益が大幅な減少となりました。

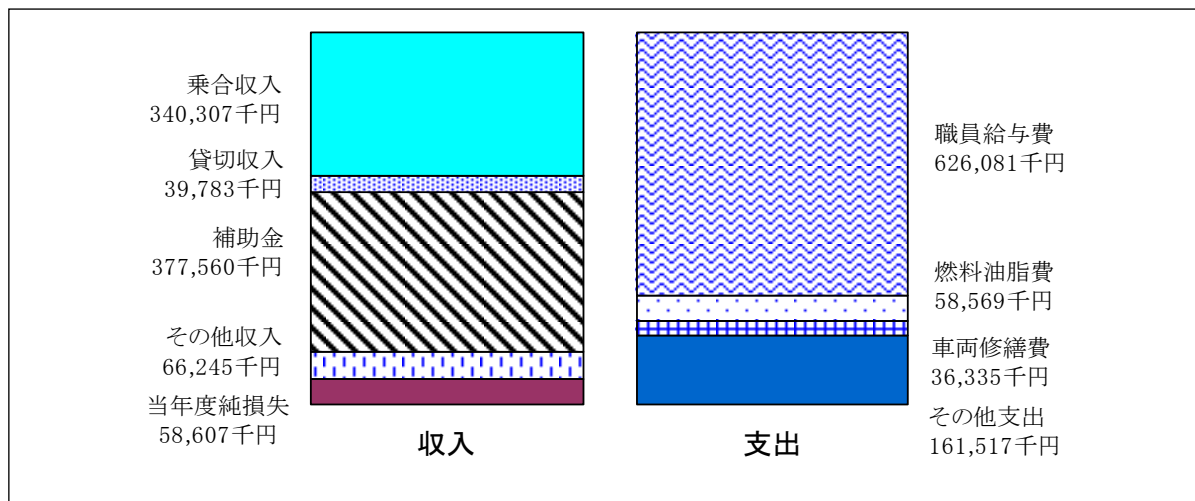
業務量については、乗合事業では、稼働バス台数は 17,464 台(前年度比 96.9%)、走行キロ数は 2,645 千km(前年度比 94.7%)、輸送人員は 1,715 千人(前年度比 77.3%)となりました。

一方、貸切事業では、稼働バス台数は 778 台(前年度比 75.4%)、走行キロ数は 53 千km(前年度比 42.6%)、輸送人員は 16 千人(前年度比 43.2%)となりました。

経営成績については、事業収益は 823,895 千円に、事業費用は 882,502 千円となり、収支差引の結果、当年度純損失は 58,607 千円に、また、当年度未処理欠損金は 22,238 千円となりました。

資本的収支については、収入は、固定資産売却代金で 473 千円、支出は、路線バス 3 台の新車購入費用及び企業債償還金等で 81,833 千円となり、差引不足額 81,360 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 3,176 千円及び過年度分損益勘定留保資金 78,184 千円で補てんしました。

〔収益的収支〕



〔資本的収支〕

